

令和2年度 自己評価書

学校名	和歌山市立西和佐小学校
校長氏名	岡本 博
作成日	令和3年2月17日

1 教育目標

強いからだと明るい心をもつ子どもの育成

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査で基本問題の正答率が県平均を上回る。 ・児童アンケートで「毎日の学習内容がわかる」90%を超える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「学校が楽しい」95%を超える。 ・児童アンケート「友だちと仲よくしている」95%を超える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活アンケート「毎日、朝ごはんを食べている」児童を95%を超える。 ・県スポーツテストにおいて、全国平均を上回る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート「子供の活動の様子をわかりやすく伝えている」90%に達成する。 ・保護者アンケート「教育目標を具体的にわかりやすく伝えている」80%に達成する。
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> (1)基礎学力の向上を図る。 (2)コミュニケーション能力の向上と活用を通して生き生きと主体的に取り組む子どもを育成する。 (3)キャリア教育の整備を図る。 (4)教員の指導力等の向上を図り、子どもの学力を伸ばす。そのために外部から指導や助言を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)人権・同和教育を推進するとともに、人権意識の高揚に努める。 (2)学校や家庭での読書活動を推進し、ゆたかな心の醸成につなげる。 (3)地域や関係団体、育友会と連携しながら、豊かな体験活動を推進するとともに道徳教育を充実させる。 (4)教職員と子ども、子どもどうし、教職員と保護者のよりよい関係を通して、お互いの信頼関係を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)体力向上の推進に努める。 (2)基本的生活習慣の確立を図る。 (3)危機回避能力の育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)授業参観や啓発活動を通して保護者や地域の方々に子育てや教育に対する意識を高める。 (2)教職員の資質向上や意識改革を図るとともに、その取り組みを広く伝える。 (3)子どもの様子を積極的発信して保護者地域の方々に知らせる。
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> (1)読書や基礎タイムで、読書・漢字練習・計算練習などを入れ、基礎学力を伸ばす。 (2)国語科で身に付ける話す力・聞く力・話し合う力・書く力と、総合的な学習の時間等で身に付けるコミュニケーション・スキルの体系的な指導を通して、確かな学力の定着と生きる力を育む。 (3)キャリア教育のはじめの一歩として、教員から自分の生き方等の語らいの時間を持つ。 (4)本年度も市教委委員指導主事の指導訪問を依頼し、研究授業を通して教員の指導力向上を目指す。 (5)自主学習ノートに取り組み、自ら興味・関心のある課題を追究し、子ども自身で学びを広げる力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)家庭や地域・関係各位と連携しながら、講演会等も含めて、子ども一人ひとりの心に響く人権感覚の高揚に努める。 (2)朝読書や「うちどく」などを通して、学校や家庭で読書活動を推進することでゆたかな心を育む。 (3)児童の心に響く豊かな体験活動を行うとともに、「私たちの道徳」を活用する等道徳の時間を充実させて、子どもの感性を伸ばす。 (4)学校の教育活動全体を通じて教職員と子ども、子どもどうしの心の交流を図り、お互いの信頼関係を築く。教職員は保護者と育友会との日々の連絡を通して、子どものよさを共有しながら心豊かな子どもを育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)他校の実践例なども参考にしながら、体力の向上を図るための方策について検討する。 (2)「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する。 (3)避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)授業参観や学級懇談・地区懇談会等を通して子どもの活動を広く知っていただくことを通じて、保護者の子育てや教育に対する意識を高める。 (2)学校通信「西和佐っ子だより」や学級通信、学年だより等で、本校の子どもの様子を積極的に地域や保護者に知らせる。 (3)学校開放週間等を通して、教育関係者の学校訪問を促し、教職員の資質の向上を図る。また、その取り組みを保護者や地域の方々に広く発信する。 (4)学校評議員や学校関係者評価委員をはじめ関係各位と連携を密にしてよりよい学校経営に努める。
取組の成果と課題【C】	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力学習状況調査(前の数字は本校の平均正答率、かっこ内はサンプル平均正答率) ・国84.5(70.3)、算80.6(66.4) ○県学習状況調査(前の数字は本校の平均正答率、かっこ内は県の平均正答率) ・4年国58.2(54.6) ・4年算69.1(66.0) ・5年国56.2(58.4) ・5年算71.4(70.1) ・5年理63.6(65.1) ○児童・保護者アンケート(前の数字は本年度の値、かっこ内は昨年度の値) 「毎日の勉強がわかる」 ・低学年81.0(84.0) ・中高学年77.0(91.0) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力学習状況調査の児童質問紙調査(前の数字は本校の平均正答率、かっこ内はサンプル平均正答率) ・「人が困っているときは進んで助ける。」93% ・「いじめはどんな理由があってもいけない。」98% ・「学校生活をよりよくするため学級会で話し合い互いの意見のよさを生かして理解方法を決めている。」85% ・「学級での話し合いを生かして自分が努力すべきことを取り組んでいる。」84% ○児童・保護者アンケート(前の数字は本年度の値、かっこ内は昨年度の値) 「学校が楽しい。」 ・低学年93.0(95.0)、中高学年88.0(92.0) 「友達と仲良くしている。」 ・低学年95.0(94.0)、中高学年92.0(99.0) 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活アンケート 「毎日、朝ごはんを食べる。」 ・3年87% ・4年81% ・5年78% ・6年77% 「自分にはよいところがある。」82% 「将来の夢や目標を持っている。」79% 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童・保護者アンケート(前の数字は本年度の値、かっこ内は昨年度の値) 「子どもの活動の様子をわかりやすく伝える」95%(79%) 「教育目標を具体的にわかりやすく伝える」88%(69%) 「住んでいる地域の行事に参加する。」48% 「地域や社会をよりよくするため何をすべきか考える。」57%
改善方法【A】	<p>全国学調、県学調の平均正答率は概ね向上している。「自主学習ノート」に取り組み、家庭への啓発を続けていきたい。コミュニケーション能力向上のため、ハンドサインを授業の中で取り入れた。しかし、定着、活用できていないので取り組みを続けていきたい。</p>	<p>友達と仲良くでき、学校が楽しいということは素晴らしいことである。今後日々の子どもたちの心の変化等を注意深く見ていく必要はある。</p>	<p>生活アンケートの結果を学級懇談会等を通して、家庭への啓発に取り組んでいきたい。</p>	<p>人権総合学習等で、より地域にある資源、教材を活用するように努める。(紀伊風土紀の丘、児童館、豆紀、麦の郷等)</p>

3 その他の課題

中校舎のトイレ等衛生環境の整備充実についても早急に要望していきたい。
